

令和6年度 武岡台特別支援学校いじめ防止基本方針

いじめ問題への学校の目標

- 児童生徒一人一人が心豊かに通える学校として、安心・安全な教育環境を整備するとともに、児童生徒が自他の大切さを理解する教育を推進する。

【生徒指導委員会】

- 【内容】**
- ・ 小学部、中学部、高等部間の連携及び生徒指導に関する情報等の共有
 - ・ 年間を通した取組等について検討
 - ・ 年間の活動を検証し、次年度への計画の作成
- 【構成】** 校長、教頭、事務長、教務主任、生徒指導主任、学部主事、学年主任、学級担任（必要に応じて、養護教諭、保健主任、支援主任、外部専門家 等）

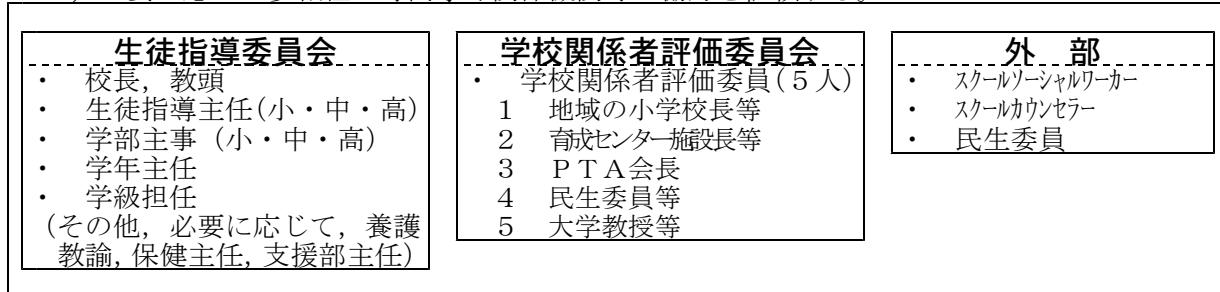
P T Aとの連携	学校の取組 (発達支持的生徒指導)	県教委との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級 P T A、学年 P T A、学部 P T A、 P T A総会、ミーティングの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未然防止 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒についての共通理解（職員朝会、学部会、学年会、主事等会等） ・ 人権教育、道徳教育、特別活動の充実 ・ 体験活動を活用した人間関係づくり ・ 標語、ポスター等の制作 ○ 早期発見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡帳の活用 ・ 欠席者への電話連絡 ・ アンケートの実施 ・ 個別面談等 ○ 課題対応 (生徒指導体制図参照) <ul style="list-style-type: none"> ・ 被害者、加害者への適切なケア及び指導 ・ 保護者との連携 ・ 指導体制及び方針の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導主事の派遣及び助言 ○ いじめ問題対応チームの派遣及び助言 ○ 研修等への講師派遣 ○ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用
学校関係者評価委員会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校関係者評価委員 <ul style="list-style-type: none"> 1 地域の小学校長等 2 育成センター施設長等 3 P T A会長 4 民生委員等 5 大学教授等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関、外部との連携 <ul style="list-style-type: none"> ○ 警察 ○ 児童相談所 ○ 市役所 ○ 民生委員 等 	

【年間計画】

	児童生徒関係	職員関係	検証関係
4月	年度当初の生活指導	生徒指導体制についての研修 児童生徒の実態についての共通理解	年間の活動計画の検討
5月	連休前の生活指導 いじめ問題を考える週間 (7日～10日)	ミーティング	アンケートの分析 ミーティングのまとめ
6月		ミーティング	ミーティングのまとめ
7月	夏休み前の生活指導	生徒指導委員会 人権に関する研修	1学期の取組の総括及び2学期に向けての取組確認
8月			
9月	いじめ問題を考える週間 (2日～6日) アンケート調査、個別面談 携帯・ネット利用実態調査	ミーティング【小中】	アンケートの分析
10月		ミーティング【高】	ミーティングのまとめ
11月			
12月	人権週間、障害者週間 冬休み前の生活指導	人権週間、障害者週間についての共通理解 生徒指導委員会	2学期の取組の総括及び3学期に向けての取組確認
1月			
2月		ミーティング	ミーティングのまとめ
3月	新年度に向けた生活指導 春休み前の生活指導		年間の総括及び次年度に向けての取組確認

武岡台特別支援学校いじめ防止等の対策のための組織

- 基本的に担任だけで対応するのではなく、関係する他の教職員と連携をとって指導・支援を行う。また、必要に応じて多職種の専門家や関係機関等に協力を依頼する。



【生徒指導体制】

〈指導・支援の流れ〉

